

「漁父之利」現代語訳（抜粋）

- ①今、（ ）がこちらへ（ ）、易水を（ ）。
- ②ドブガイが（ ）泥の中から出てひなたぼっこをしていました。

③シギは何の肉をついばんでいたのか？

- ④ドブガイは（ ）て（ ）のくちばしを挟みました。

- ⑤シギが言うことには、「今日雨が降らず、明日も雨が降ら（ ）」。

- （ ）ドブガイの死骸ができるぞ。」と。

- ⑥ドブガイもまたシギに言うことには、「（ ）」と。

- ⑦両者は（ ）。

- ⑧漁師は（ ）を（ ）。

○それぞれは何のたとえでしょう？ またどうしてそう言えるのですか？

〔鶴〕……
〔蚌〕……
〔漁父〕……

○「能」も「く」とができる。」と訳すが、「得」と「能」の違いは何でしょう？ 「漁者得而・擒之。（ぎよしやえてこれをあはせとらふ）」と「漁者能而・擒之。（ぎよしやよくこれをあはせとらふ）」ではどういう意味の違いがあるか？

○「漁父の利」という慣用句を使って、ショートコント又はなぞかけを作りなさい。

ショートコント

なぞかけ
「漁父の利」とかけて、

ととく。そのところは？

「そりやあ、漁父の利だな。」

-
- ⑦「舍」＝「捨」
⑧「不肯」……（ ）。
- ⑥「曰」と「謂」の違いは？
- ⑤「即」の訳し方は？
- ④ドブガイは、何のくちばしを挟んだのか？

- ⑧「得」……可能
(機会を得る)